

三重の土地改良アラカルト

地方創生汚水処理施設整備推進交付金 山田南地区の完成について



処理施設

【はじめに】

伊賀市が実施してきました地方創生汚水処理施設整備推進交付金 山田南地区について、処理施設が完成を迎えたのでご紹介させていただきます。

伊賀市は三重県の北西部に位置し、北は滋賀県、西は京都府、奈良県と接しています。地形は鈴鹿山脈、大和高原、布引山系に囲まれた盆地を形成しており、古くから農林業を基幹として発展してきた農山村地域です。交通は、名阪国道が近畿圏と中部圏を連結しており、鉄道網もJR関西本線、近鉄大阪線が横断し、県境圏の交流を更に至便なものとしています。

伊賀市では、農村生活環境の整備と自然環境を保全するため、農業集落排水整備区域内の25地区の整備と公共下水道区域内の6地区の整備が完了し、供用が開始されており、快適な生活環境と河川等の水質保全を維持するとともに、市の基幹産業である農業の活性化を図り、「伊賀米」「伊賀牛」等のブランド化を推進しています。

本地区は、近年の農村社会における混住化の進展、生活様式の高度化等により農業用排水の汚濁が進行するなど、悪臭の発生等の問題が生じていました。このため、農業用排水の水質保全及び、農村生活環境の改善を図ることを目的とし、あわせて服部川等の公共用水域の水質保全に寄与するよう、「汚水処理施設整備交付金」を活用して、農業集落におけるし尿、生活雑排水を処理する施設、汚泥、処理水の循環利用を目的とした農業集落排水施設の整備を行うことになりました。

【地区概要】

- 地方創生汚水処理施設整備推進交付金 山田南地区
- ・実施場所：伊賀市出後・富岡・平田・真泥地内
 - ・施行年度：平成27年度～令和2年度
 - ・総事業費：1,684,000千円

- ・処理施設：1棟 鉄筋コンクリート造平屋建、管路施設 L=11,666m
- ・処理方式：最初沈殿槽を前置きした連続流入間欠ばっ気方式
- ・受益戸数：191戸
- ・事業実施主体：伊賀市

平成27年から6年をかけ完成した同施設は、農業集落排水施設としては伊賀市で26施設目となり、要望のあった地域では最後の処理施設です。

令和2年9月26日に竣工式がおこなわれ、式典に参加された地域の方から喜びの声が聞かれました。これも多くの関係者のご尽力の賜物と存じます。



竣工式

【おわりに】

市内にある26施設の農業集落排水施設には、最も古い施設で供用開始後30年以上経過したものもあり、老朽化が著しく、突発的な故障が増加しています。

このため、ストックマネジメントの手法を用いた施設の維持管理、更新が求められることから、伊賀市においては、最適整備構想に基づき改築、改修を行う機能強化対策事業に計画的に着手されています。引き続き、農業集落排水施設の効率的な運営を図っていただければと思います。